

内装ハブ



ユーザーマニュアルは以下にてご覧いただけます。
<http://si.shimano.com>

重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取付け、調整などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方むけのディーラーマニュアルはウェブサイト(<http://si.shimano.com>)で公開しています。
- 製品の分解、改造はおこなわないでください。

安全のため、必ずこの「ユーザーマニュアル」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

安全のために必ずお守りください

交換作業を必要とする事項は販売店または代理店へご相談ください。

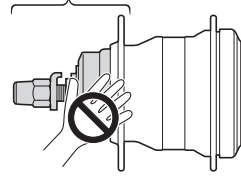
警告

- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキシステムの適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。ブレーキシステムの操作が適切でないと自転車のコントロールを失い、転倒して大怪我をする可能性があります。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱い説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をする可能性があります。
- ユーザーマニュアルをよくお読みになった後、大切に保管してください。

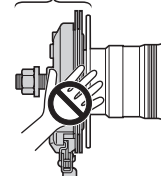
注意

- シフティングレバーは必ず1段ずつ(11段ハブの場合は1段もしくは2段ずつ)変速操作してください。その際、ペダルの踏力は弱い状態で行ってください。強くペダルを踏んでいる時に、無理やりシフティングレバーを操作したり、一気に多段変速したりすると、足がついていかずにペダルから足を踏み外し、転倒事故につながる可能性があります。また、シフティングレバーを一気に変速させるとアウターケーシングがシフティングレバーから飛び出す場合があります。変速が終わると元に戻りますので機能への影響はありません。
- 長い下り坂でコースターブレーキを連続して使用されますと、ブレーキ内部が高温になりブレーキの効きが弱くなったり、内部のグリスがなくなりブレーキの効きが急に強くなる等の異常が発生する場合があります。
- ならし走行をして、ブレーキの制動力の確認をしてください。
- ブレーキを頻繁に使用した場合、ブレーキ周辺が高温になる場合があります。走行後しばらく(30分位)は、ブレーキ部周辺に手をふれないよう注意してください。

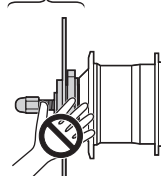
コースターブレーキ部



ローラーブレーキ部



ディスクブレーキ部



- 油圧ディスクブレーキ使用の場合、ブレーキを連続してかけ続けると、ペーパーロック現象の発生のおそれがありますので、ブレーキを連続してかけ続けないでください。ペーパーロック現象とは、ブレーキシステム内の油の加熱により、ブレーキシステム内の水分、あるいは気泡が膨張、ブレーキレバーストロークが急激に増加する現象です。

使用上の注意

- 内装ハブは、変速構造による音が発生します。異音等が感じられる場合は販売店にご相談いただくか、ディーラーマニュアルをご参照ください。
- 11段ハブの場合のメンテナンス
 - ハブシェルにあるオイルポートボルトは、オイル交換時に使用するボルトです。オイル交換時以外は、絶対に緩めないようにしてください。オイルが漏れて飛び散ることがあります。
 - 製品の性能を維持するために、使用開始から最初は1,000 km、その後は2年間に一度(頻繁に乗車される場合は5,000 kmごと)を目安に、販売店または代理店で、内部のオイル交換などのメンテナンスを相談してください。
- その他ハブの場合のメンテナンス
 - 製品の性能を維持するために、使用開始から2年間に一度(頻繁に乗車される場合は5,000 kmごと)を目安に、自転車購入店もしくはプロショップで、内部のグリスアップなどのメンテナンスを推奨します。またメンテナンスの際は、シマノ内装ハブ専用グリスまたは、オイルキットを推奨します。専用グリス・オイルキットを使用されない場合、変速機が正常に作動しない等のトラブルの原因となる可能性があります。
- 内装ハブは完全防水ではありません。ハブが浸水するような場所でのご使用、高圧洗浄は内部の錆の原因となりますのでお控えください。
- ギアは定期的には中性洗剤で洗浄してください。またチェーンを中性洗剤で洗浄し注油することも、ギア及びチェーンの寿命を延ばす効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合は、ギアとチェーンを販売店または代理店で交換してください。
- ベルクランク部分には、絶対に足をかけないでください。変速不具合の原因となります。
- 変速時は、ペダルを止めるかペダルの踏力を弱くして変速してください。スムーズに変速できます。
- 変速操作はよく練習してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の経年劣化は保証いたしません。

乗車前の日常点検項目

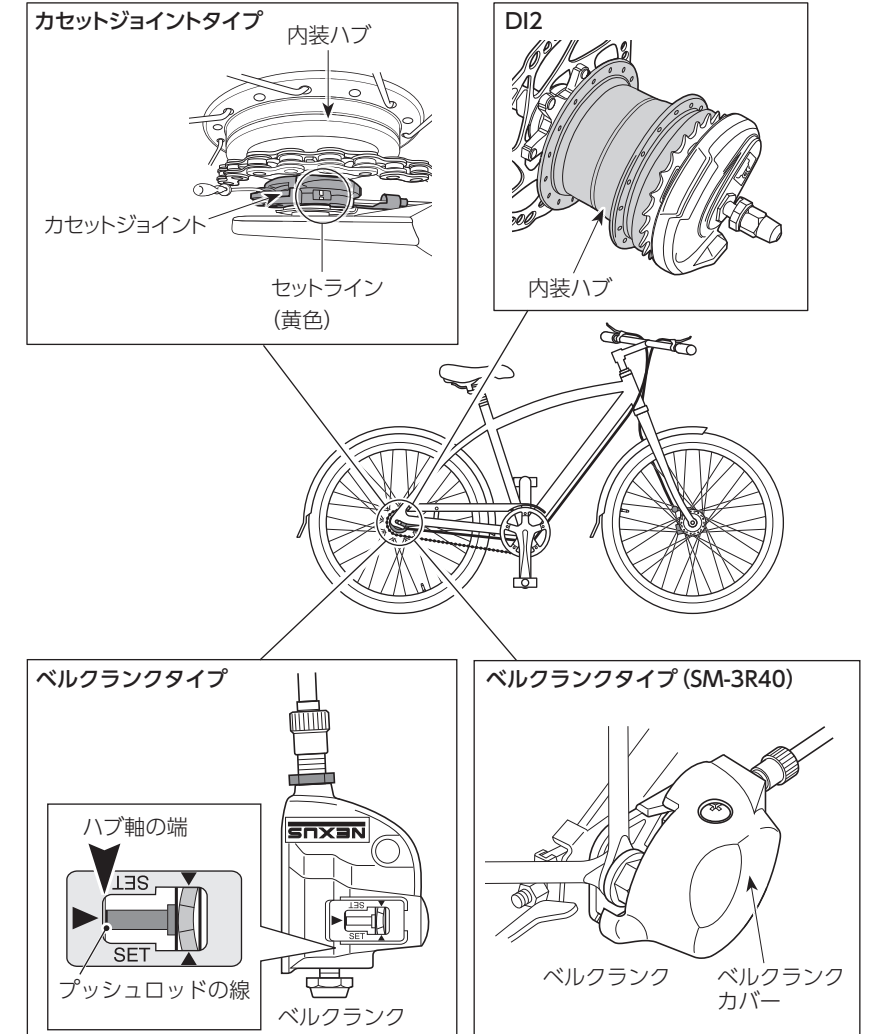
乗車前には下記に記載する項目を点検ください。異常のあった場合は販売店または代理店へご相談ください。

- 変速はスムーズに行えますか。
- カセットジョイントのセットラインは正しい位置にありますか。
- ベルクランクのプッシュロッドは正しい位置にありますか。
- エレクトリックワイヤーは断線していませんか。
- 操作時にふだんと異なる音はしませんか。

*変速ケーブル調整の点検方法(セットライン位置、プッシュロッド位置)はシフティングレバーのユーザーマニュアルをご覧ください。

各部の名称

内装ハブの仕様により構成部品は異なります。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577